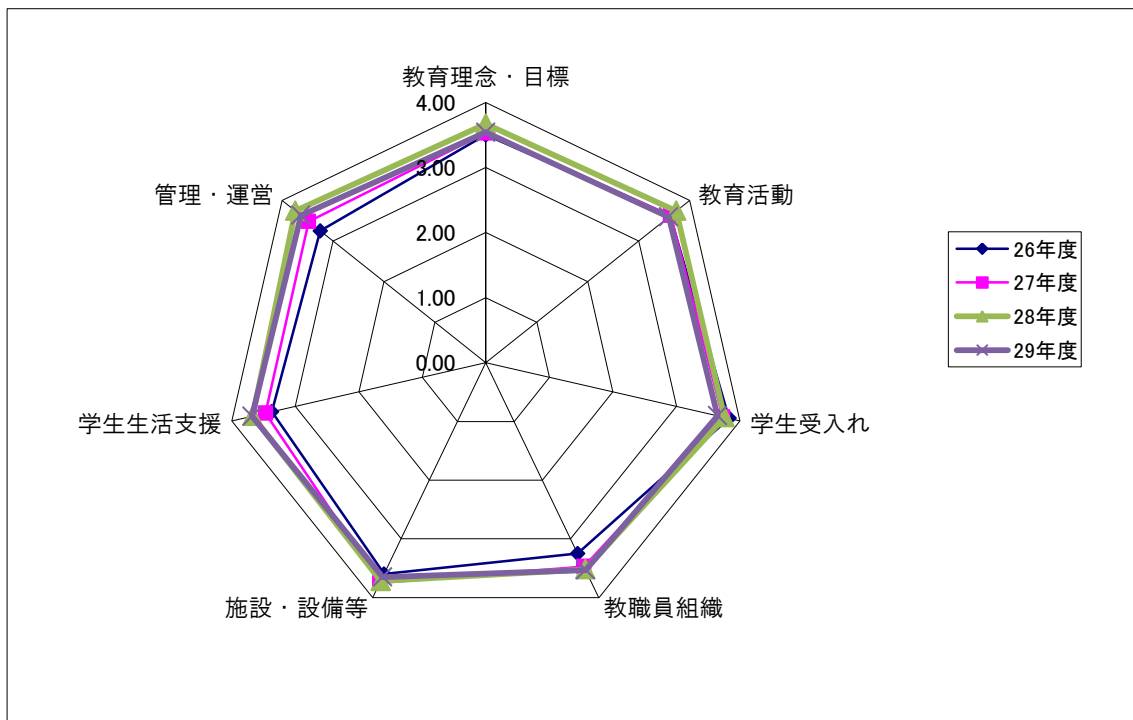


平成29年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

	26年度	27年度	28年度	29年度
教育理念・目標	3.50	3.53	3.67	3.54
教育活動	3.62	3.63	3.74	3.59
学生受入れ	3.83	3.73	3.76	3.65
教職員組織	3.25	3.47	3.52	3.53
施設・設備等	3.60	3.75	3.72	3.65
学生生活支援	3.37	3.47	3.67	3.68
管理・運営	3.25	3.48	3.74	3.63
平均(4点満点)	3.49	3.58	3.69	3.61



総合評価

平成29年度の本校自己点検・自己評価の結果は昨年同様、概ね良好であると言える。教職員に退職者が少ないことから、計画的に学生指導ができ、安定した運営ができています。しかしながら、国家試験結果においては作業療法学科の合格率がやや低く、県内の作業療法学科すべてに言えるが、職業に対する高校生等の認知度の薄さから、定員割れが課題となっている。これらは早晚、理学療法学科にも及ぶ事案であることから、学生確保に対する策が急務と言える。今後は早い段階から本校を第一希望とする受験生を増やす工夫をすることはもちろん、学園全体での改組を含めて検討が必要と思われる。また、学習量についていくことが難しく、途中であきらめてしまう学生に対する補講等、今までにない教職員の仕事も急増したことから、カリキュラムの見直しを平成32年度を目指して進めていくことにする。平成30年度は、これらの総合評価に甘んじることなく、今後もより積極的に、「最後まで面倒をみる」ことを基本に学生指導をする学校運営を行なう。